
呪文の本

ルエリ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

呪文の本

【Nコード】

N2266BA

【作者名】

ルエリ

【あらすじ】

宮川 政史はばかばかしくおもいながら、1つの本をとった。その手に取った瞬間、人生が変わった

第1話 呪文という名の本

普通に過ごしてたのに、何でこんなことがおきたのだろう。
ごく普通に、そこらと同じ生活してたのに……。

俺の名前は、宮川^{みやかわ} 政史^{まさし} 読書が好きで、書店から、中古本を買うのが趣味で、今は1000冊はあるんじゃないか。

そして、この本を読んだら、俺の人生変わっていたんだ。読まなければ、楽しかったわけでもない。

その本は、分厚くて、鍵がついていた。キーは、本の表紙にあった。本の名前は「呪文」

見たときは、バカバカしい、なんて思った。買うときも、店員さんは何も言わなかったし。

でも、本を開いてみると、そこには、いろんな、呪文が載っていた。そして、召喚獣の呪文など。

俺はその中の呪文「願望呪文」を唱えてみた。これは、唱えた後に、3つほしいものをいうと、ほんとにもらえるらしい。呪文は簡単だった。

政史「ラリウィツシュ？」

そゆがなく、唱えた後に、ほしいものを3つ言った。

政史「うゝん、文房具と、ノートと、お金」

続く

第2話 願いがかなったから億万長者

政史「すげえ！、かなっちゃったよ！」

そして、政史はコレを家族に話した。 家族も見ておどろいた。 だけど、こんなもの幻想で、唱えたら、その家族バタリばたりと死んでった。

この伝説は今でも信じられてるらしい。

呪文は怖いね。 まんまと信じちゃうと、三途の川に落とされちゃうんだね。

もしかしたら君にもかな？ そんなわけないよね？

まんまと信じたら、悪魔の道へ。 だけど、信じたっていいんだよ？ 10分の1の確立でだまされるかもよ？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2266ba/>

呪文の本

2012年1月10日19時55分発行